

# 2010 年度 活動計画案

## I 組織・運営

### 1. 第 35 回定例総会

日時：2010 年 6 月 12 日(土)13 時半～17 時

場所：pia NPO 6 階大会議室

記念企画：障害をもつ子どもの受験・進学等についての講演会あるいはシンポジウムを検討中。

### 2. 会員の拡大と広報の充実

#### (1) 会員の拡大

昨年度に引き続き、会員の減少が見られるため、会員の拡大に取り組む。どのようにしたら会員の拡大につながるか、広く会員に諮り、検討していく。また、機関誌『はらっば』の頒布促進等とも絡めながら検討していく。

#### (2) 広報の充実

- ①ホームページおよびブログの更新に努める。
- ②子ども情報研究センター活動紹介用パワーポイントを改良し、活用する。
- ③現会員に継続していただくため、魅力ある情報（講座・学習会等の案内、事務局情報）を随時、発信する。
- ④チャイルドライン夢メッセージ展を中心に企業の協賛・後援を得るべく、広報に努める。
- ⑤センターの相談事業（チャイルドライン O S A K A、ファミリー子育て何でもダイヤル、子ども家庭相談室）を知ってもらうべく、市民フェスタ等に参加し、広報に努める。
- ⑥ロゴをそれぞれの活動の講座や研修チラシ等に積極的に活用し、周知する。

### 3. 企画委員会

今年度も各部門から企画委員を委嘱し、センターの事業企画・運営について議論する。企画委員会は 2 か月に一度開催予定。

#### 《2010 年度企画委員》

石打澄枝（大阪府子ども家庭サポーター協議会）、今橋千晶（チャイルドライン O S A K A）、宇治野崇弘（ユアボイス）、内山洋子（ファミリー子育て何でもダイヤル）、奥村仁美（保育部ももぐみ）、川原由香里（子どもとあそびのネットワーク）、小谷訓子（理事）、駒崎順子・辻本みゆき（つどいの広場事業）、南田安紀子（はっぴいポケット）、宮川要二（大阪市子ども相談センター不登校児童通所事業） 計 11 名  
田中文子、堀正嗣、山下裕子、国松祐子、山崎秀子（事務局）

## 4. 部門制

多岐にわたる事業の運営責任を分担するために部門制を継続する。

### 子ども情報研究センター組織図

会 員 総 会	センターの最高意思決定機関。
理 事 会	総会で選出された理事により意思決定を行う。 センターの企画・運営に責任を負う。
執 行 機 関	
所 長	総会、理事会の意思決定に基づく事業遂行の最高責任者。
副 所 長	所長を補佐。
事 務 局 長 事 務 局 次 長 事 務 局 員	所長の指示の下、各事業の連絡調整等、事務の実務を遂行する。
企 画 委 員 会	所長の下に置かれ、総会・理事会の決定に基づいて、センターの企画運営を行う。多岐にわたる事業の連絡調整機能を担う。
部 門	多岐にわたる事業の運営責任を分担する。総会・理事会の決定に基づき、所長の指示の下、各部門の意思決定・企画運営を行う。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 研究部門</li><li>・ 編集部門</li><li>・ ファミリー子育て何でもダイヤル部門</li><li>・ はっぴいポケット部門</li><li>・ 子どもとあそびのネットワーク部門</li><li>・ 大阪府子ども家庭サポーター協議会部門</li><li>・ 保育部ももぐみ部門</li><li>・ チャイルドラインOSAKA部門</li><li>・ 子ども家庭相談室部門</li><li>・ ユアボイス部門</li><li>・ 大阪市こども相談センター不登校児童通所事業部門</li><li>・ 大阪市つどいの広場事業部門</li></ul>

#### 事務局体制

事務局長：山下裕子、国松祐子

事務局次長：山崎秀子

事務局員：三浦侑子、大森順子、榎雄喜、二葉智代

## 5. 「はらっぱ基金」

子どもの権利擁護事業のさらなる展開をめざして、2007年度「はらっぱ基金」を創設した。当面は、各種事業の継続が危機に瀕したり、新たな事業の開始が必要になるときまで、できるだけ有利に預金しておくこととする。

## II 事業

### 1. 子どもの人権、人権保育・教育等に関する研究、研修事業

#### (1) 共同研究者会議

今後のセンターの研究活動のあり方、研究と実践の連携のあり方などについて検討していきたい。

#### (2) テーマ別研究部会

下記の6つのテーマ別に会員の自主ゼミナールとして運営する。

- ・ 障害児の生活と共育を考える：部会発案のイギリス視察ツアーは、子ども情報研究センターの全体事業として行うことになった。部会の参加者にも案内し、ツアー参加者を募る。『はらっぱ』5月号では特集で障害児の受験、進路について取り上げる。これらの内容も踏まえ、秋以降は学習会等を開催予定。
- ・ 子どものことばと生活：ここ2、3年、絵本分析を続けてきている。絵本指導を読み語りに終わらせるのではなく、保育実践にどう活用するか、検討してきた。2009年度は遊びの展開における絵本の活用を検討し、その中で遊びの展開を表現する工夫をした。2010年度はこの展開図を、保育課程、指導計画へつないでいくことを意識的に研究していく予定である。
- ・ からだ育て：(A) 前年度に続き、からだ・ことば・イメージをテーマに、先人野口三千三、アンリ・ワロン、メルロ・ポンティのからだ観に学びながら、ふれあい遊び、うた遊びとして、さまざまな領域で生かすことができる研究を続けて行く予定。  
(B) 保育所聖愛園にて、幼児乳児と一緒に遊びながら、ふれあい遊びの意味、課題などを追求していく予定。
- ・ 子ども人権：前年度に引き続き、読書会を中心に、ほぼ隔月ペースで活動を行う。また、2010年度は『逐条解説子どもの権利条約』（喜多明人ほか編、日本評論社）を取り上げる。国連での子どもの権利条約採択から20年、日本政府の批准から15年。この間、日本社会での子どもの人権を守る取り組みの何が進み、何が滞っているのか。あらためて、この『逐条解説子どもの権利条約』を読み解きながら、部会のなかで考えてみたい。なお、まだ前年度に取り上げた本（『スクールソーシャルワーカー養成テキスト』日本学校ソーシャルワーク学会編、中央法規）での読書会が残っている間は、それを継続する予定である。

- ・子育ち連携：2006年度から、保育・教育実践のなかにみる福祉と教育の連携をテーマに、文献講読や聞き取りをつうじて草創期からの部落解放保育・教育の足取りをたどってきた。2009年度からは、地域社会の子育ちに焦点をあて、部落解放子ども会の活動に携わってこられた方からリレートークの方式でお話をうかがい議論を積み重ねている。2010年度も同様の取り組みを続けていく予定である。
- ・子育て支援：子ども関連施策、保育施策が大きく転換しようとしている中、問題を認識し、考えていくために学習会を開催する。また、施策に関する最新情報を『はらっぱ』部会報告コーナーにて紹介する。

### (3) 第32回人権保育教育連続講座

前期は6～7月、後期は10～11月に開催予定。前期プログラムは下記のとおり。後期は実践報告を中心に企画していく。

#### 【前期プログラム】

子どもの人権を大切にする保育を、ともに～「私」の保育をともに語ろう（仮）

	日程	テーマ	講師
1	6/3 (木)	0歳から育ちあう保育～0歳の意見表明ってどんなこと？	堀井二実 (園田学園女子短期大学)
2	6/16 (水)	「子どもの権利条約」を保育に～子どもの人権を大切にする保育	澁野かず子 (川西市立川西保育所)
3	6/30 (水)	あそびで育つ子どもたち	青山美幸 (泉南市立一丘幼稚園)
4	7/14 (水)	障がいをもつ子どももたない子ども、ともに育ちあう保育	棚田純子 (元豊中市こども未来部参事)
5	7/23 (金)	保護者とともに～保育所・幼稚園に求められる子育て支援	松尾純代 (帝塚山大学)

○時間：14：30～16：30

○場所：piaNPO 6階大会議室

### (4) 第31回全国保育集会（自治労主催／子ども情報研究センター協賛）

2010年7月30日（金）～8月1日（日）和歌山県和歌山市にて開催予定。

### (5) 自然教室

昨年に引き続き、森山康浩理事長を講師に、自然教室を開催予定。

- ・第3回自然教室

日時：6月19日（土）・20日（日）

場所：豊能郡能勢町

- ・宿泊研修のほか、親子で楽しむ日帰り研修も実施予定

## (6) イギリス視察旅行【新規】

6月末～7月上旬に、イギリス・ロンドンの保育・教育施設、子どもの権利擁護機関等の視察を行う。

## 2. 編集・出版、情報提供事業

### (1) 機関誌『はらっぱ』（月刊）の編集・発行

今年度も月1回編集会議を開き、編集に当たっていく。

編集委員：田中文子（編集長）、大森順子、合田由紀子、国松祐子、近藤亜矢子、  
社納葉子、堀井二実、増山育子、三浦侑子

#### ① コーナー構成は継続。

表紙／もくじ／特集／グラビア／ティーンズメッセージ from はらっぱ／子どもの世界・おとなの世界（浜田寿美男さん連載）、サバイバル手帳（辛淑玉さん連載）（隔月）／子ども時評／保育・ゆめ・未来／子どもの権利条約20年／子どものいま／学校のお作法／10代アルバイトの“仕事のゲンバ”／ともに生きる（堀正嗣さん連載）、保育教育のホンネを語る～王さまの耳はロバの耳（隔月）／虹色のはらっぱ／子育ての「これってどうなん？」／はは日記、親と子の自然教室（隔月）／子どもと医療～ドクター、こんなこと聞いていい？／LETTERS／自由空間☆きらり／つどいの広場／だから、これが好き／子ども家庭サポーターだより／〇月の予定／ニュース切り抜き帳／情報／ピックアップ／事務局日誌

#### ② 特集テーマ：年間を見通し、総会記念イベントや保育関係集会、講座等とタイアップさせて、特集を組んでいく。

4月号：子どもと自然（仮）

5月号：障がいをもつ子どもの進学を考える（仮）

6月号：中高生の居場所（仮）

7月号以下検討中

#### ③ ここ数年、インターネットを通じて入会される方が増えていることから、『はらっぱ』専用ブログをたちあげ、広く一般に『はらっぱ』を知っていただくよう努める。

<http://ameblo.jp/harappa307/>

### (2) ホームページ、ブログ

ホームページおよびブログの更新に努め、情報発信を行う。掲載内容の充実に努め、情報提供に務める。

ホームページ <http://www.kojoken.jp>

ブログ <http://www.hnpo.comsapo.net/kojoken/>

### **3. 地域子育て支援ネットワーク事業**

#### **(1) ファミリー子育て何でもダイヤル（連合大阪からの事業委託）**

- 電話番号 06-6577-1001  
毎週水曜日午前10時～午後8時（年末年始祝日は除く）
- 体制 1日2～3シフトを組んで担当
- スタッフ 35名
- スタッフミーティング  
月1回  
ケース検討、スタッフ研修、交流会、事務連絡
- 新スタッフとの交流会（4月）
- 集中ダイヤル（5月）  
24時間体制、フリーダイヤル
- 広報活動 カード配布、スタッフによる周知活動等
- 年次報告書の作成

#### **(2) はっぴいポケット**

- ①毎月第2金曜日10時半～12時半、piaNP0 301号室にて開催。
- ②隔月ミーティング実施
- ③交流会「はっぴいポケットとともに」開催。  
子どもとおとなが「つどう」中で、わたしたちが大切にしたいことを聴きあい、カタチにして発信する。
- ④東住吉区子育てネットワークにかかわり、みんなの広場を開催。

#### **(3) 子どもとあそびのネットワーク**

定例会や交流会を通して、「子どものあそびをキャッチ」をテーマに活動する。あそびのプロセスをおとなも子どもも共有し、子どもの自主的なあそびから、子どもの力を感じあっていく。

- ①隔月定例会を行う
- ②親子講座「自然がいっぱい！ヒノキであそぼう」（5/28）
- ③親子講座「いろいろなあそびを楽しもう」（7/25）
- ④自然素材からのあそびをキャッチする。木玉の里にて開催
- ⑤『こどものあそびをキャッチ』（ごきげん編・たべもの編）の広報活動を行う
- ⑥ブログの公開 <http://asonet.exblog.jp/>

#### **(4) 大阪府子ども家庭サポーター協議会（サポーターネット）**

今年度は、「子ども炊き出しプロジェクト」（愛称「子どもげんきプロジェクト」）を中心に会議・炊き出し実施・研修を行う。

朝日新聞厚生文化事業団の「子どもへの暴力防止プロジェクト助成」を受け、昨年12月からプロジェクトをスタートした。今回はモデル事業として、大阪府内の1市（東大阪市

の予定)で行い、他市へ広げる。「子ども家庭サポーター」1000名のネットワークを活かす。プロジェクトの目的は次のとおり。

- ・地域で虐待を疑われる子ども達に居場所を提供する。
- ・親以外の、地域のおとなへの信頼感を育む。安心して自分を出せるおとながいることを知らせる。子どもたちと顔見知りになることにより、子ども自身が、地域でSOSを出すことができるようになる。
- ・炊き出しにより、食事が取れていない子どもへの直接支援をする。

#### (5) 保育部ももぐみ

年間30件に及ぶ保育依頼を担いながら感じたことや、つどいの広場事業などで子どもと関わることから学んだことをもとに、2010年度は2つの活動を主に進めていく。

##### ①子どもの人権を大切にすももぐみ保育の発信

2008年度から発行し、Vol.10に至った『ももぐみ通信』をさらに充実させ、ももぐみ保育の発信の媒体とする。子どもの人権を大切にすももぐみ保育とはどのようなものか、子どもや保護者と関わる気づきの中から読みとれるように、内容を工夫する。

##### ②子どもの人権を大切にす保育を考える講座・学習会の開催

子ども情報研究センターが運営する「つどいの広場」とつながり、子どもや保護者の生の声を聴きながら、保育を考えたい人が参加する講座や学習会を企画・開催する。はっぴいポケット、チャイルドライン OSAKA、子ども家庭相談室など、子ども情報研究センターで子どもに関わる活動をしている人たちとも、ともに学びあいたい。

## 4. 子どもエンパワメント事業

### (1) チャイルドライン OSAKA

#### ①開設時間：毎週金曜日 16時～21時（年末年始、祝日は休み）

子どもの日・秋のキャンペーン時は、土曜日にも開設。

#### ②開設番号：0120-99-7777

#### ③定例会議、研修チーム会議、事務・会計チーム会議、広報チーム会議の開催

#### ④現任スタッフ研修（3日間同内容）の開催

#### ⑤大阪府の北部、未配布の部分を中心に広報：カード・ポスターの作成・配布

#### ⑥チャイルドライン受け手養成講座の開催

#### ⑦チャイルドライン夢メッセージ展の開催

#### ⑧助成金や企業へのファンドレイズ（資金集め）

#### ⑨他団体との連携

- ・チャイルドライン支援センター総会（5/29）
- ・チャイルドライン大阪連絡会（年4回開催）
- ・近畿・北陸エリア研修
- ・近畿・北陸エリア会議
- ・チャイルドライン全国研修（10/30、31）

## (2) 子ども家庭相談室

①開設時間：毎週月・火・木 10 時～20 時 TEL06-6577-1001

面接は木曜のみ（面接予約 TEL06-4708-7087）

②「被害者救済システム」連携支援機関（大阪府教育委員会からの業務委託）

③年次報告書の作成

## (3) ユアボイス

2009 年度に予定していたHP 版の過去番組のブログ版化がまだ完了していないので、まずこれをしていく予定。宣伝も個人個人のツテ主体ではあるが継続していく。番組の形として、今のように1つの番組に複数の話題を詰め込んで作るのではなく、よく話題になるテーマは、別にコーナーを作り、複数の番組を同時に制作してみてもどうか、という話もあがっている。特に複数のテーマが違うボイスメールが入った時などは、それぞれのボイスメールに合わせた番組を作りたいと思っている。また、作成時間の確保ができるのであれば、HP & ブログ版番組にも、電話版のように肉声の番組を付けてみようかと考えている。数分間程度の、テーマ1つ分の内容ができれば…と企画中。

## (4) ティーンズメッセージ from はらっぱ

今年度も、『はらっぱ』誌上でさまざまな子どもたちの生の声や活動を発信していく。

## (5) こどものまち事業【新規】

大阪府立大型児童館ビッグバンからの委託により、ミニ☆大阪の企画・運営を行う。

## 5. 行政との協働

業務委託をはじめ、行政との協働を引き続き行う。

### (1) 大阪市こども相談センター不登校児童通所事業（大阪市からの業務委託）

「自由空間☆きらり平野」

①対象：原則として小中学生年齢の学校に行っていない子ども。

②開設日時：火・水・金・土 11：00～15：30（祝日は休み）

③スタッフ：コーディネーター、指導員、ボランティアスタッフ

### (2) 大阪市つどいの広場事業（大阪市からの事業委託）

大阪市つどいの広場事業の委託を受け、市内3か所でつどいの広場を実施する。

・港区：はっぴいポケットみ・な・と（月・火・水・金・土 10：00～15：00）

・淀川区：育児&育自“この指と～まれ!”（月～金 11：00～16：00）

・北区：みつるポケット（月～金 10：00～15：00）

### (3) 24 時間電話相談（大阪府教育委員会からの業務委託）

①開設日時：2010 年 4 月 1 日～2011 年 3 月 31 日の祝日・休日の全日

②開設時間：平日 17 時半～翌朝 9 時半および祝休日終日

③電話番号：0570-078310（全国統一電話番号）、06-6577-5125（直通電話番号）

(4) 「被害者救済システム」連携支援機関（大阪府教育委員会からの業務委託）

(5) 大阪市子ども家庭支援員研修事業（大阪市からの業務委託）

(6) 大阪市児童虐待防止地域協力員現任研修（大阪市からの業務委託）

(7) その他

行政からの講座・研修の企画運営を受託・実施予定。

## 6. その他

(1) 『自治労の保育運動』編集（自治労中央本部からの業務委託）

これまで年3号編集・発行（各2000部）してきたが、今年度の発行回数・部数については自治労中央本部と協議中。

(2) 国際交流事業

アジア保育・教育交流推進実行委員会「大阪マイペンライ」に参加。監査役を務める。  
大阪マイペンライ「タイ保育研修事業」への講師派遣。

(3) 講師紹介事業

行政、社会福祉協議会、NPO等が主催する講座等に講師の紹介をしていく。

(4) 講座企画・運営委託事業

行政、学校等からの講座・研修の企画運営を受託・実施予定。

(5) インターンシップの募集・受け入れ

昨年度に引き続き、今後の人材を育成し、新たな出会いを広げることを目的に、インターンシップの募集・受け入れを行う。ホームページへの掲載、大学への広報により募集。民間団体での事務局業務や子ども家庭支援等、実地体験の機会としてもらう。

募集内容

① 民間団体（法人）運営について学びたい方

・事務局にて事務作業、事業運営の各種サポート

② チャイルドライン（子ども専用電話）について学びたい方

・チャイルドライン運営のサポート

（チャイルドラインの電話を受けるボランティア（受け手）を希望する方は、養成講座受講が必要。受講料は実費要）

③ 子育て支援、子ども家庭支援、保育について学びたい方

・子育て支援、子ども家庭支援、保育に関わる事業のサポート

- ・「つどいの広場」(大阪市より委託運営、3か所)での実習
- ④不登校の子どもの居場所について学びたい方
  - 「自由空間☆きらり」(大阪市より委託運営)での実習
- ⑤ ホームページ制作、チラシ制作、広報について関わりたい方

**(6) 企業と連携した子育て講座、イベント等の企画・開催**

企業と連携した子育て講座、イベント等の企画・開催、企業の社員向け子育て講座、経営者・管理職向け子育て支援講座等について、企画の検討を進めていく。

## 役員体制（案）2010年3月21日～6月30日

理事	森山 康浩	（子ども情報研究センター共同研究者）	
	寺内 信人	（自治労大阪府本部 健康福祉部長）	・・・就任候補
	高橋 定	（部落解放同盟大阪府連 子育て運動部長）	
	高瀬 正美	（連合大阪）	
	原 ひとみ	（大阪府教職員組合 中央執行副委員長）	
	矢木 一美	（大阪府私立幼稚園連盟 副理事長）	
	田中 文子	（子ども情報研究センター所長、 川西市子どもの人権オンブズパーソン専門員）	
	堀 正嗣	（子ども情報研究センター副所長、 熊本学園大学教授）	
	小谷 訓子	（子・己育ち相談「リリーフ」主宰）	
監事	吉田 洋子	（元 常磐会短期大学教授）	
	堀井 二実	（園田学園女子大学短期大学部教員）	

### \* 理事の補欠選任について

小田晃之氏より、「任期途中ではあるが、公務の都合により3月20日付で辞任したい」と申し出がありましたので、定款第13条の規定により、理事の補欠選任をお願いします。（なお、補欠又は増員により選任された役員の任期は、前任者又は現任者の残任期間となります。）

理事候補 寺内信人氏